

商品名 ウラリット-U配合散 添付文書情報

一般名	クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物散	薬価	10.90
規格	1g	区分	
製造メーカー	日本ケミファ	販売メーカー	日本ケミファ
薬効	3. 代謝性医薬品 39. その他の代謝性医薬品 394. 痛風治療剤 3949. その他の痛風治療剤		

ウラリット-U配合散の組成・成分

1g中

クエン酸カリウム：463mg

クエン酸ナトリウム水和物：390mg

ウラリット-U配合散の用法・用量

- [1] 痛風並びに高尿酸血症における酸性尿の改善：通常成人1回1gを1日3回経口投与するが、尿検査でpH6.2から6.8の範囲に入るよう投与量を調整する。
- [2] アシドーシスの改善：原則として成人1日量6gを3～4回に分けて経口投与するが、年齢、体重、血液ガス分析結果などから患者の状況に応じ適宜増減する。

ウラリット-U配合散の効能・効果

- [1] 痛風並びに高尿酸血症における酸性尿の改善。
- [2] アシドーシスの改善。

ウラリット-U配合散の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

1. 重大な副作用：
 - 1) 高カリウム血症（0.54％）：高カリウム血症に伴い、徐脈、全身倦怠感、脱力感等があらわれることがある。
2. その他の副作用：
 - [1] 肝臓：（0.1％～2％未満）AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、 γ -GTP上昇、（頻度不明）LDH上昇。

[2] 腎臓：（頻度不明）血中クレアチニン上昇、BUN上昇。

[3] 消化器：（0.1%～2%未満）胃不快感、下痢、悪心、胸やけ、嘔吐、食欲不振、（頻度不明）嘔気、口内炎、腹部膨満感、胃痛、舌炎。

[4] 皮膚：（0.1%～2%未満）発疹、（頻度不明）皮膚そう痒感。

[5] 泌尿器：（0.1%～2%未満）排尿障害〔縮小した結石の尿管への嵌頓による（このような場合には外科的処置を含む適切な処置を行うこと）〕。

[6] その他：（0.1%～2%未満）頻脈、残尿感、眠気、（頻度不明）貧血、全身倦怠感。

ウラリット-U配合散の使用上の注意

【禁忌】

- ヘキサミン投与中の患者。

【重要な基本的注意】

- 本剤の投与に際しては、患者の血清電解質の変化に注意すること。特に、腎機能障害のある患者に投与する場合や、長期間投与する場合には、血中カリウム値、腎機能等を定期的に検査すること。
- リン酸カルシウムは、アルカリ側で不溶性となることが知られているので、結石防止のため過度の尿アルカリ化は避けるべきである。

【合併症・既往歴等のある患者】

- 尿路感染症の患者：感染を助長するおそれがある。

【腎機能障害患者】

腎機能障害患者：カリウムの排泄低下により、高カリウム血症があらわれやすい。

【肝機能障害患者】

肝機能障害患者：肝疾患・肝機能障害の症状を悪化させるおそれがある。

【高齢者】

減量するなど注意すること（生理機能が低下していることが多く、副作用があらわれやすい）。

【相互作用】

- 併用禁忌：ヘキサミン（ヘキサミン静注液）〔ヘキサミンの効果を減弱することがあるので併用は避けること（ヘキサミンは酸性尿下で効果を発現するので、尿pHの上昇により効果が減弱することがある）〕。
- 併用注意：水酸化アルミニウムゲル＜経口＞〔他のクエン酸製剤との併用でアルミニウムの吸収が促進されたとの報告があるので、併用する場合には2時間以上投与間隔を置くこと（クエン酸がアルミニウムとキレート化合物を形成し、アルミニウムの吸収を促進させるとの報告がある）〕。

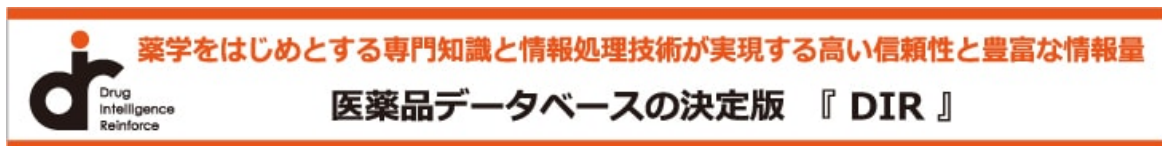
【適用上の注意】

1. 薬剤交付時の注意：

- 1) 服用しにくい場合は、水などに溶かして服用する（本剤は、塩味が強く服用しにくいことがあり、また、痛風・高尿酸血症の患者においては、尿量の増加をはかることが望ましいとされている）。

【保管上の注意】

室温保存。



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.